

令和2年度「別府市学力調査」(令和3年1月実施)の結果

別府市教育委員会

1 調査結果公表の目的

令和2年度「別府市学力調査」結果及び別府市全体の課題と課題解決の方策を公表することにより、別府市児童生徒の学力向上に向けて、学校、家庭及び地域がそれぞれの果たすべき役割を認識し、一体となって取組を推進する機運を高めることを目的として調査結果を公表します。

2 調査の概要

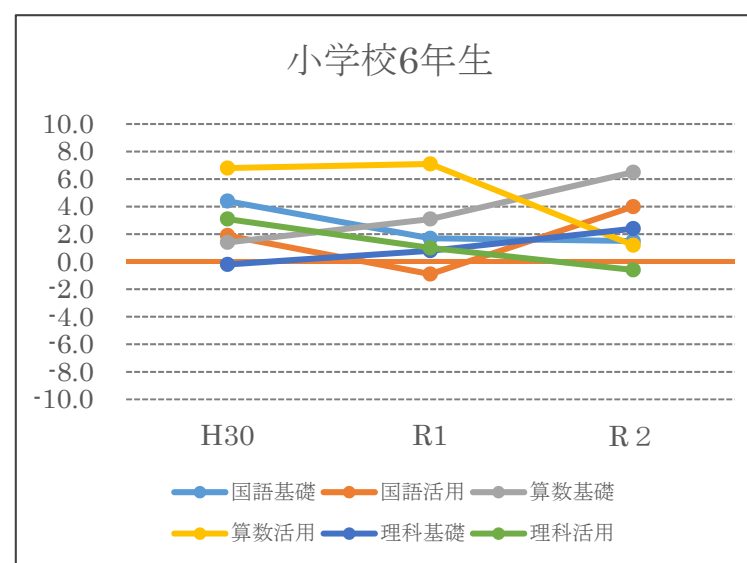
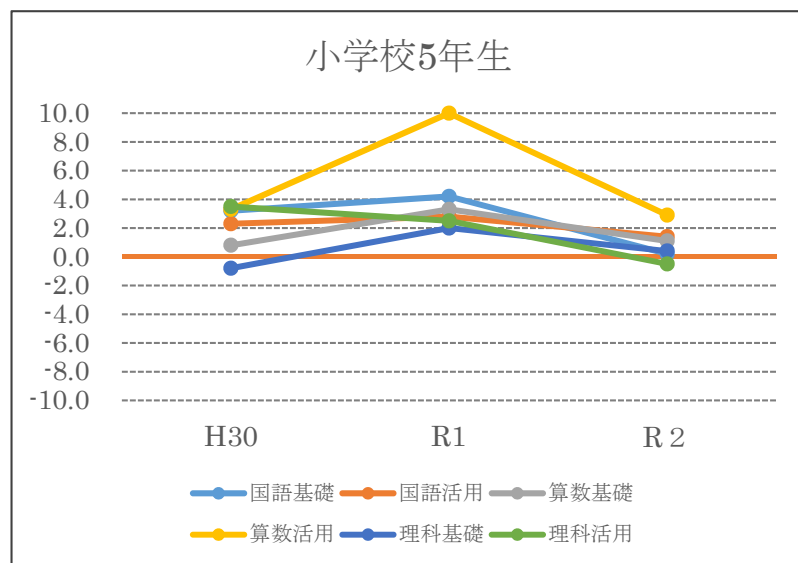
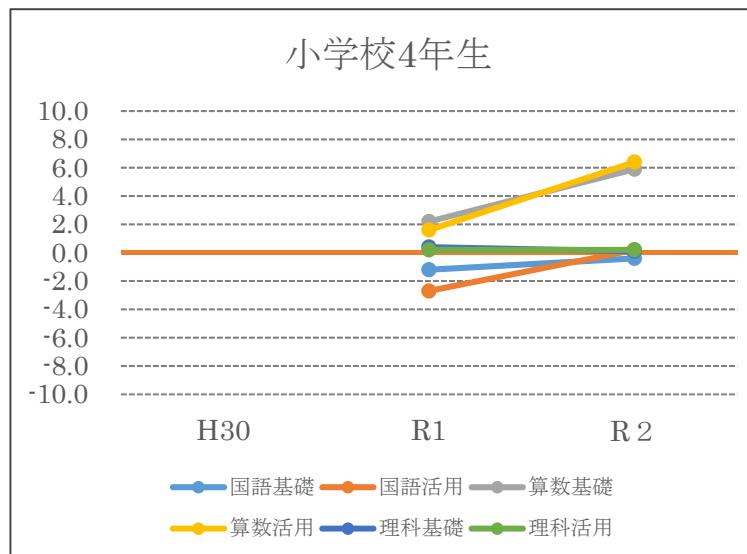
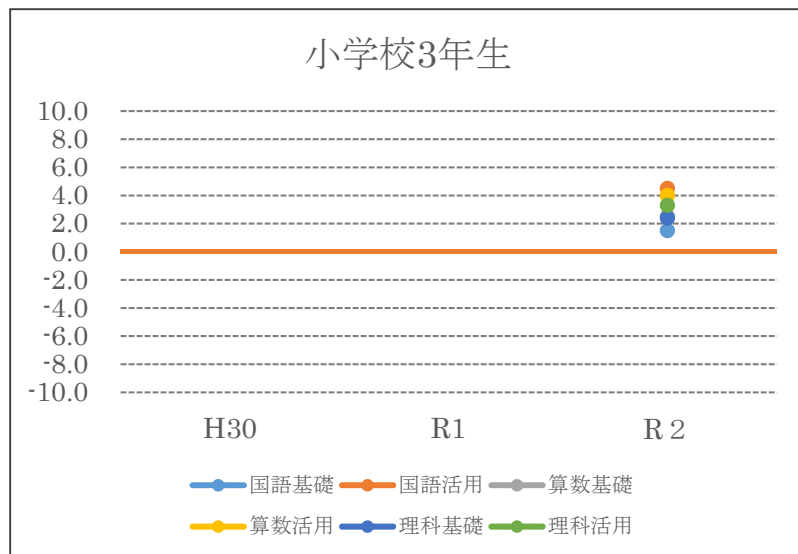
	別府市学力調査 (別府市教育委員会実施)
調査目的	市内小・中学校児童生徒の、学習指導要領に示された内容の定着状況を客観的に把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることにより、児童生徒の確かな学力の向上に資する。
実施日	令和3年1月13日(水)
調査対象	小学校第3～6学年及び中学校第1・2学年
調査事項	○国語(「基礎」及び「活用」に関する問題) ○社会(「基礎」及び「活用」に関する問題)・・・中学校のみ ○算数・数学(「基礎」及び「活用」に関する問題) ○理科(「基礎」及び「活用」に関する問題) ○英語(「基礎」及び「活用」に関する問題)・・・中学校のみ
備考	別府市立全小・中学校を対象に実施

3 調査結果

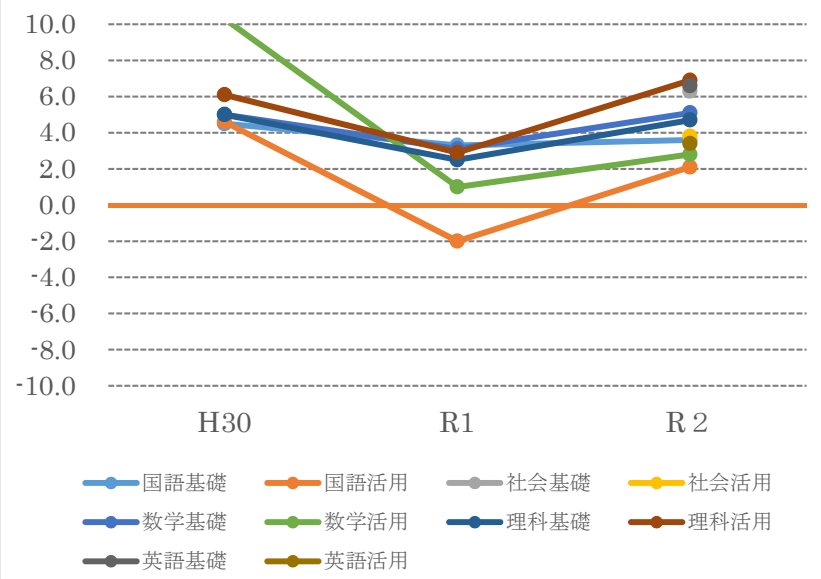
学 年	小学校3年生						小学校4年生					
	国語		算数		理科		国語		算数		理科	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	70.4	56.3	78.6	58.6	72.5	62.8	69.4	59.4	75.3	58.1	71.4	60.6
母体正答率	68.9	51.8	76.1	54.6	70.1	59.5	69.8	59.2	69.4	51.7	71.3	60.4
差	1.5	4.5	2.5	4.0	2.4	3.3	▲ 0.4	0.2	5.9	6.4	0.1	0.2
学 年	小学校5年生						小学校6年生					
	国語		算数		理科		国語		算数		理科	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	72.3	57.3	70.1	52.0	73.9	63.3	75.9	59.5	79.3	58.6	76.9	64.9
母体正答率	72.1	55.9	69.0	49.1	73.5	63.8	74.4	55.5	72.8	57.4	74.5	65.5
差	0.2	1.4	1.1	2.9	0.4	▲ 0.5	1.5	4.0	6.5	1.2	2.4	▲ 0.6

学 年	中学校1年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	78.3	61.5	64.9	42.7	69.3	38.5	68.0	53.1	73.6	57.9
母体正答率	74.7	59.4	58.6	38.9	64.2	35.7	63.3	46.2	67.0	54.5
差	3.6	2.1	6.3	3.8	5.1	2.8	4.7	6.9	6.6	3.4
学 年	中学校2年生									
	国語		社会		数学		理科		英語	
項 目	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
別府市正答率	76.2	60.8	60.4	50.7	64.2	46.6	62.0	62.4	60.7	51.9
母体正答率	72.6	62.4	56.5	52.9	63.2	45.4	57.8	59.0	58.8	46.8
差	3.6	▲ 1.6	3.9	▲ 2.2	1.0	1.2	4.2	3.4	1.9	5.1

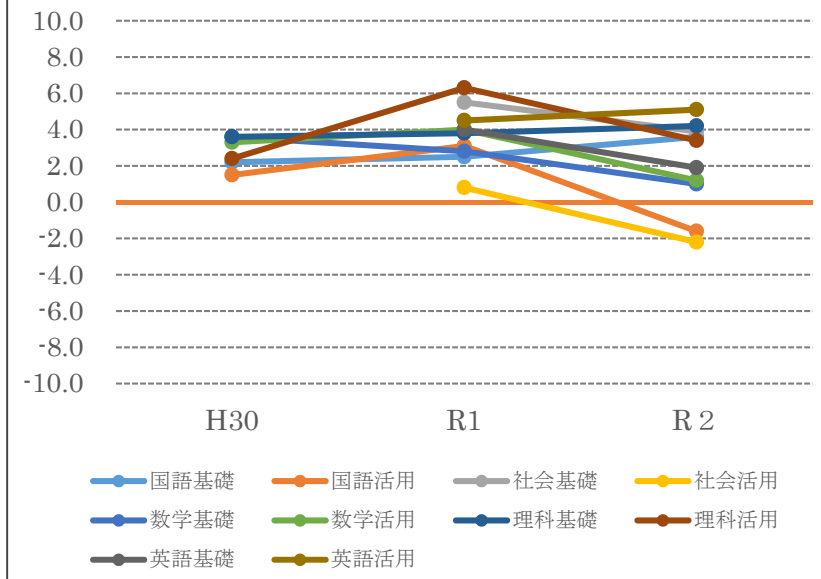
4 同一集団の成長の過程（母体正答率との差）



中学校1年生



中学校2年生



5 調査結果の概要

【小学校3年生】すべての項目で母体平均正答率を上回っている。

【小学校4年生】国語「基礎」はわずかに母体平均正答率を下回ったが、その他の項目はすべて母体平均正答率を上回っている。

【小学校5年生】理科「活用」以外はすべての項目において母体平均正答率を上回っている。昨年度と比べると伸び悩んでいる。

【小学校6年生】理科「活用」はわずかに母体平均正答率を下回ったが、その他の項目はすべて母体平均正答率を上回っている。

【中学校1年生】すべての項目で母体平均正答率を上回っている。小6の時からさらに学力の伸長が見られる。

【中学校2年生】8項目において母体平均正答率を上回っている。国語「活用」、社会「活用」に課題がある。

6 調査結果を踏まえたこれからの取組

(1) 基礎的な内容の定着について

今回の学力調査の結果から、定着が不十分な単元や領域を明らかにして、授業の一部や放課後の補充学習、家庭学習を利用して復習することで、基礎的な内容の定着を図ります。

(2) 活用力の向上について

問題解決的な授業・活用型の授業を単元に1つ以上は位置づけるなどして、活用力（思考力・判断力・表現力）の育成に向けて取り組みます。また、授業において「書く」「説明する」「振り返る」等の学習活動の充実を図ります。

(3) 教師の授業改善の推進について

講義型授業から主体的・対話的で深い学びを創造する授業への転換を図ります。授業の中で一人一人の学びの状況を丁寧に見取り、児童生徒に対して必要な指導・支援を行います。また、ICT機器等を活用した授業を推進します。

今回の学力調査結果から、教師個々が「これまでの指導のどこに問題があったのか」「どのように変えればよいのか」を具体的に明らかにすることで、授業改善に活かします。

7 引き続き取り組むこと・協力をお願いしたいこと

【 教育委員会 】

- 学校の重点目標に位置づけている学力について、学期毎に客観的な評価を行うよう指導・助言をします。
- 各種調査結果に基づいて各学校が作成する「学力向上プラン」に対し、指導・助言をします。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進します。
- 問題解決的な授業・活用型の授業を推進します。
- 学校が地域や家庭と協働して教育を行えるよう、コミュニティ・スクールを推進します。

【 学 校 】

- 各種調査結果に基づいて各学校が作成する「学力向上プラン」を確実に実施し、短期で評価、補充をします。
- 「書く」「説明する」「振り返る」等の学習活動を授業の中に位置づけ、「思考力・判断力・表現力」を育成します。
- 校内研究において授業を積極的に公開し、参観者からの意見や指摘による授業改善に取り組みます。
- 小テストや振り返りの時間、家庭学習プリントの工夫を繰り返し、日々の学習内容を定着させます。
- 学校の教育活動について情報を発信したり、家庭や地域と協議したりして、一緒に取り組みます。

【 家庭・地域 】

- 集中して学習に取り組める家庭学習の時間を確保するとともに、家庭学習ができる環境を整えてください。
- 家庭学習の手引き等を活用して、小学校低学年から家庭学習に取り組む習慣をつけ、学習の跡を褒めてください。
- 子どもが読書をする時間を設定したり、読書ができる環境を整えたりしてください。
- PTA活動、学校の諸行事、地域行事等、あらゆる場面で子どものよりよい成長を促してください。